

第1章 地方拠点都市地域に関する事項

1 地方拠点都市地域の名称

石巻地方拠点都市地域

2 中心都市名

石巻市

3 地方拠点都市地域の構成と概要

市町名	面積 (k㎡)	人口 (人)	世帯数 (世帯)
石巻市	555.64	167,324	56,857
東松島市	101.86	43,235	13,582
女川町	65.79	10,723	3,939
合計	723.29	221,271	74,378

※ 面積、人口及び世帯数は平成17年国勢調査結果

宮城県の北東部に位置する石巻地域は、石巻市、東松島市、女川町の2市1町から構成される面積723.29k㎡、人口221,271人を有する地域で、東西・南北とも約30km四方の範囲内にあります。

石巻地域は、降雪が少なく温暖な気候を呈し、また、地形的には、太平洋沿岸部と沖積平野を形成する内陸部に大別され、その土地利用は農地や森林等の占める割合が多いものの、近年、農林業的な土地利用から宅地や道路等の都市的土地利用へと転じている状況にあります。

また、本地域は、北上川、鳴瀬川、牡鹿半島、旭山、奥松島等の恵まれた自然環境や、国際交流の先駆けを成した慶長遣欧使節に係る史実、野蒜築港跡、雄勝硯等の歴史・文化資源を数多く有しています。

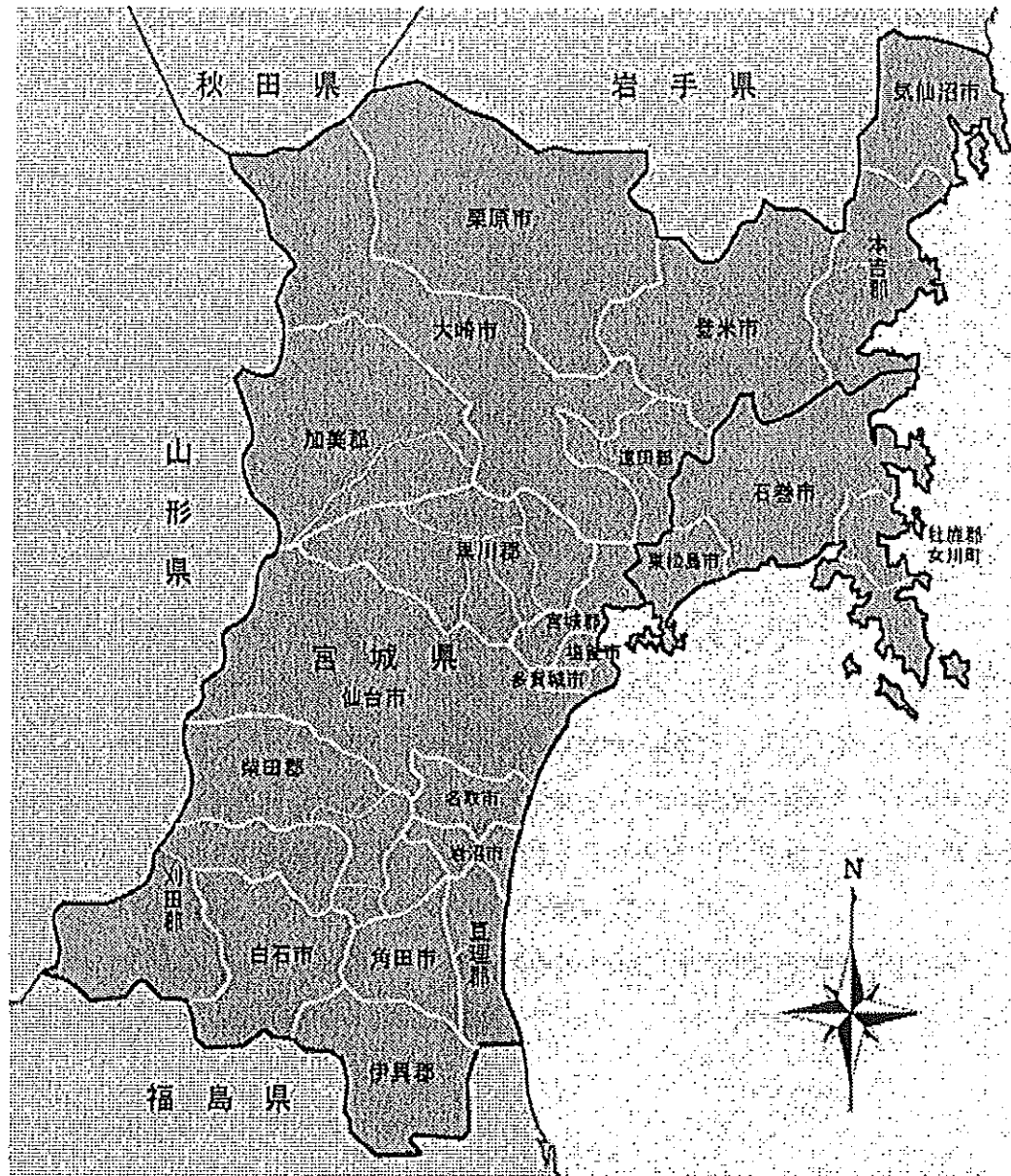
一方、産業面をみると、太平洋沿岸部では金華山沖漁場等に近接することから、古くから漁業や水産加工業が盛んであり、また、石巻湾に位置する石巻市や東松島市の臨海部では、パルプ・紙加工品製造や木材・木製品製造及び鉄鋼業等が盛んです。さらに、沖積平野を形成する内陸部では、稲作・畜産・園芸等が営まれています。

道路については、国道45号、108号、398号や県道が本地域内及び仙台都市圏、大崎広域圏、登米市、気仙沼・本吉広域圏と連携し、本地域の産業経済や文化及び生活等の交流の中心的なネットワークを形成しています。

さらに、近年、三陸縦貫自動車道の延伸とインターチェンジへのアクセス道路整備の積極的な取り組みにより、地域内外の高速交通体系が確立され、人的・物的交流が、なお一層、増進されることが期待されています。

鉄道については、JR仙石線や石巻線が地域内外を接続していますが、東北新幹線との接続、あるいは増便や時間短縮等、さらなる快適化や利便性向上に向けた取り組みが展開されています。

○図1 石巻地方拠点都市地域 位置図



4 将来像

(1) 石巻地域の課題

地域住民が待ち望んでいた三陸縦貫自動車道の整備が進み、平成10年に石巻河南インターチェンジが開通したことにより、石巻・仙台間の所要時間が1時間30分程度から約40分に大幅に短縮されました。その一方で、地域内の交通アクセスは、リアス式海岸などの地形的な要因により、石巻市の中心市街地まで1時間程度かかる地域もあり、今後の整備が課題となっています。

また、本地域の基幹産業である農業、漁業、水産加工等の製造業を取り巻く国内外諸情勢の厳しい変化のなかで、地域を牽引する新たな産業の育成や就労環境の整備の遅れにより、魅力ある就業の場や賑わいの場等が少ない状況となっています。